

# 港南区桜道再整備計画

## 意見交換会説明資料

### 第1回

- P.1 ・意見交換会の開催にあたって
- P.2 ・現況図（平面図、断面図）
  - ・基本計画図(案)
- P.3 ケース分けの考え方
- P.4 1-A. 東側歩道-既存樹木利用案
- P.5 1-B. -植樹案
- P.6 2-A. 西側歩道-既存樹木利用案
- P.7 2-B. -植樹案
- P.8 3-A. 両側歩道-既存樹木利用案
- P.9 3-B. -植樹案

平成25年1月9日

横浜市 港南土木事務所

## 意見交換会の開催にあたって

### 意見交換会の目的

桜道は市内有数の桜の名所であり、昭和初期から長い歴史があります。また、例年「港南の桜まつり」が開催されるなど地域からも愛されています。一方で以下のような課題もあります。

- ① 桜の高齢化による倒木の危険性
- ② 根上がりによる舗装破壊
- ③ 歩行者や自動車への通行障害

これら課題を解決するため、桜道再整備案の方向性について、住民のみなさまと行政が考え方を共有できるよう、意見交換会をもって相互理解を深め、より良い桜道再整備案をまとめることを目的とします。

### 桜道再整備案の論点について

桜道再整備案の策定において、整備計画の論点(テーマ)を以下の内容について着目し、意見交換を行い整備案についてまとめていきたいと思えます。

#### ①歩行者の安全性について

現況の歩道は、幅員が狭く既存の桜も成長しているため、歩道内をスムーズに通行することが困難な状況となっています。

この状況を改善するため、歩道幅員の拡幅や既存の桜の撤去等を考慮した整備案を検討していきます。

#### ②桜のある道づくりについて

既存の桜を極力残す方向とするか、長期的視点から若い桜にリニューアルしていくかなど、桜のある道づくりの考え方について検討していきます。

#### ③車両の走行性について

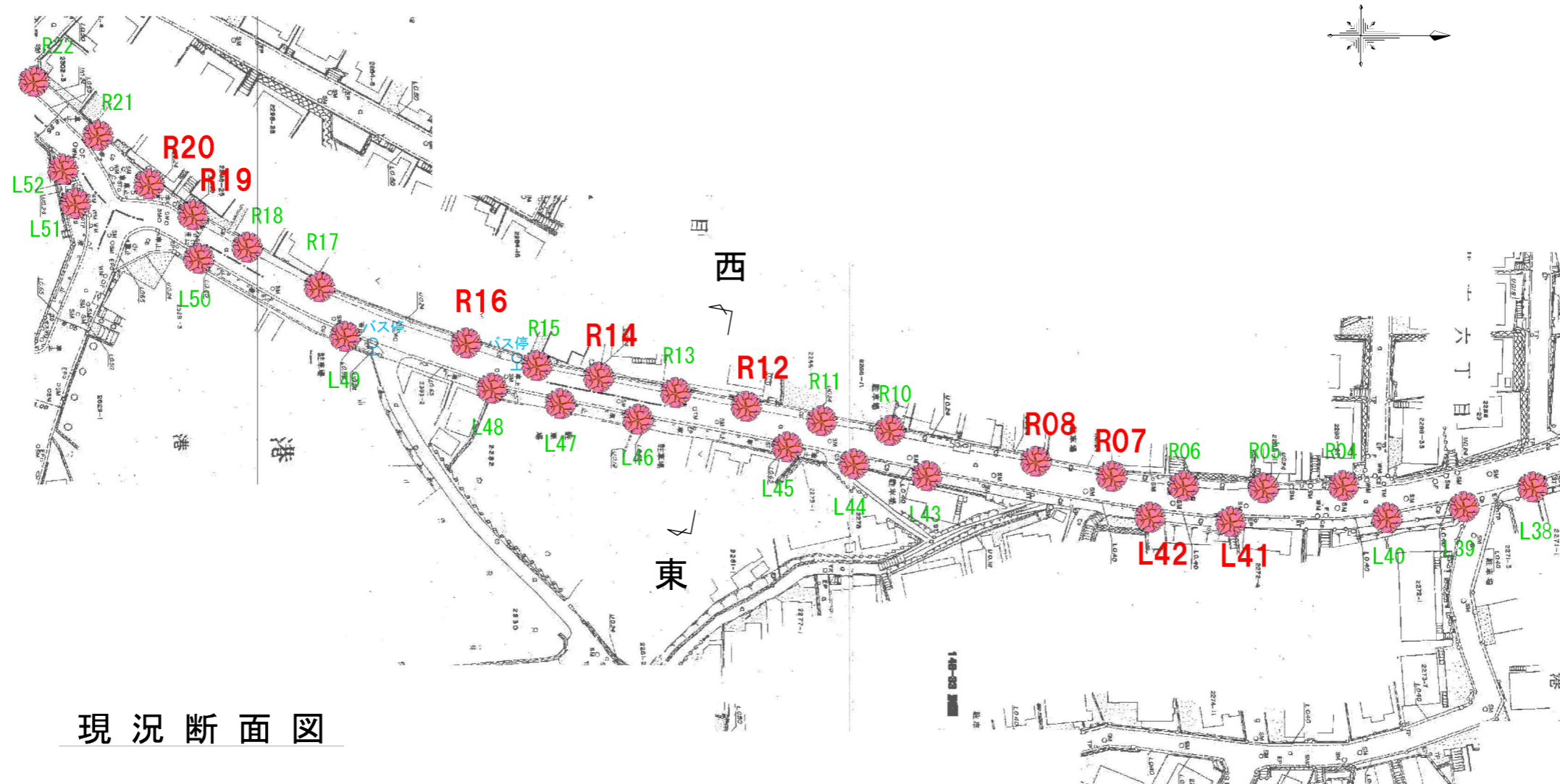
現況の車道は、桜の成長に伴い根本部分が車道にはみ出していることから、スムーズな車両の走行を妨げている部分が存在します。

この状況を改善するため、車両走行の安全性確保と既存の桜の取り扱いについて検討していきます。

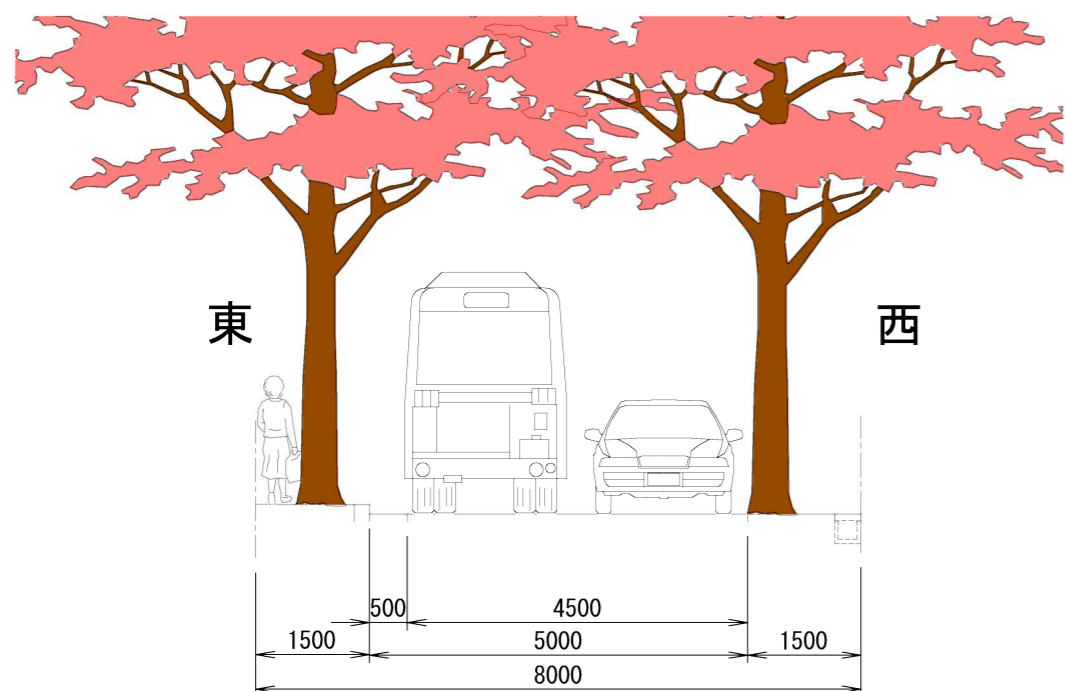
MEMO

現況平面図

桜の本数を減らさない基本案



現況断面図



現況写真



緑字 … 樹木診断の結果、A・B1と診断された樹木  
 赤字 … 樹木診断の結果、B2・Cと診断された樹木

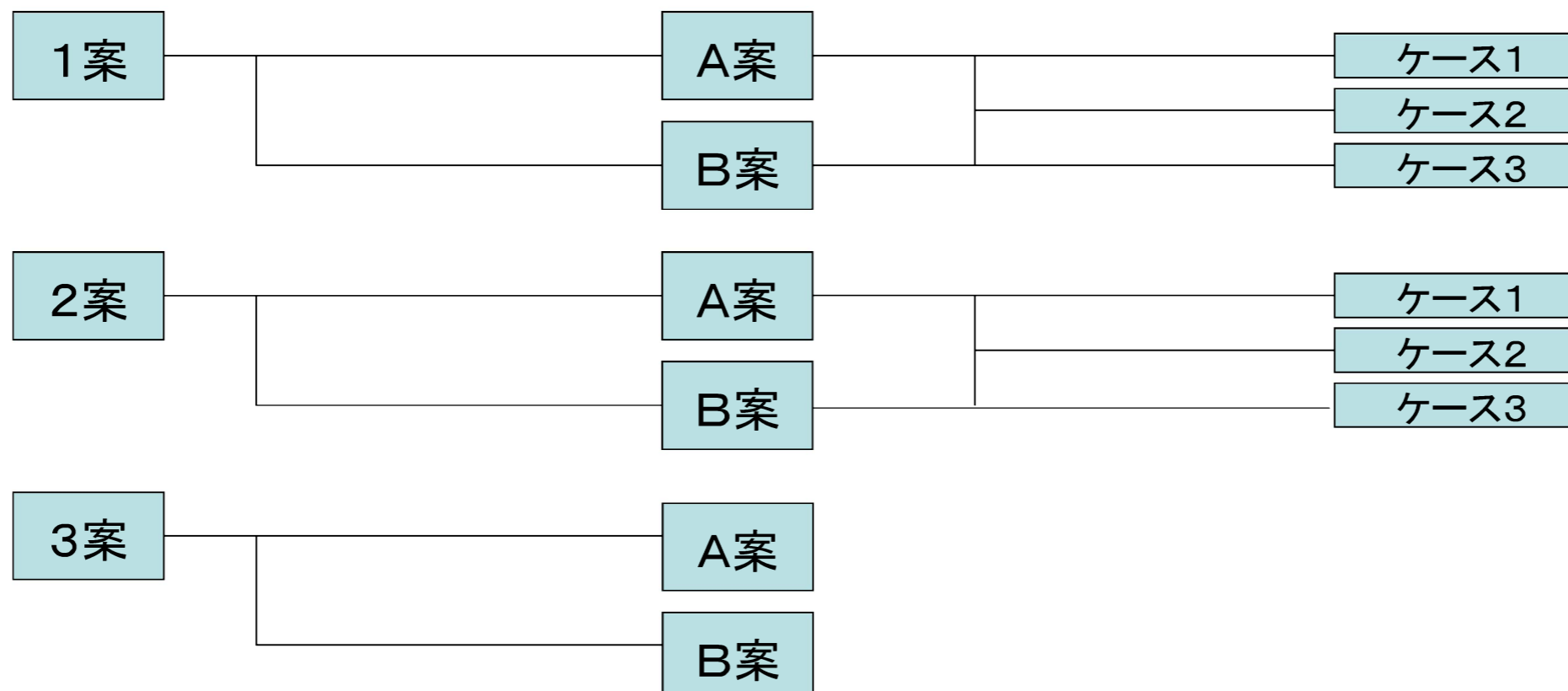
※ A : 健全か健全に近い  
 B1 : 注意すべき被害が見られる  
 B2 : 著しい被害が見られる } 伐採対象  
 C : 不健全

## 桜の本数を減らして再整備する案

### ケース分けの考え方

歩道の設置位置		桜の保全の考え方		歩道や路肩の幅	
1案	桜道東側に歩道設置する案	A案	倒木の恐れのある桜のみ撤去・植替えし、既存の桜を極力保全する案	ケース1	路肩を両側50cmとした標準ケース
2案	桜道西側に歩道設置する案	B案	既存の桜を全て撤去し、新たな桜を植栽する案	ケース2	片側歩道の幅を最大限確保したケース
3案	桜道東西両側に歩道設置する案	/		ケース3	片側歩道の反対側の路肩を1m確保したケース

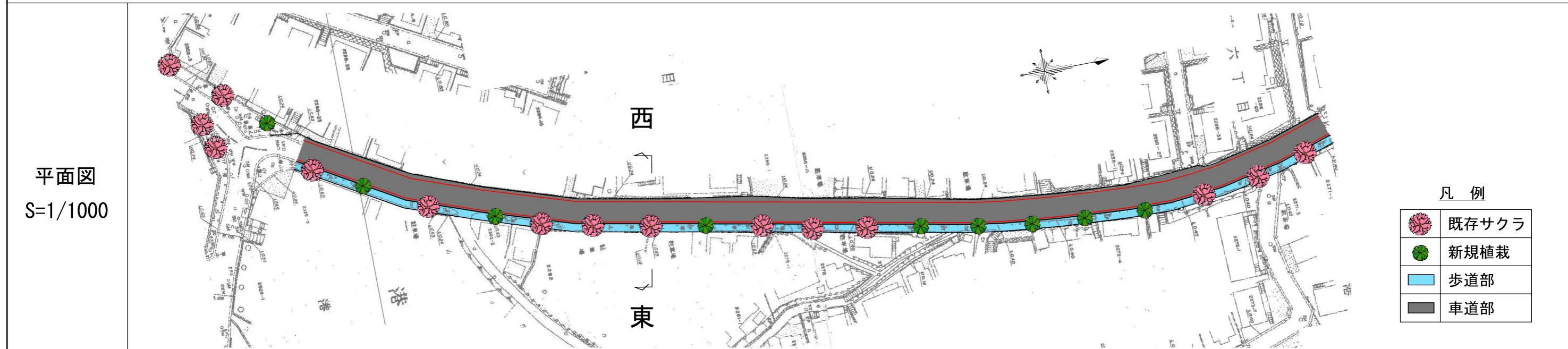
### 今回ケーススタディの組み合わせ



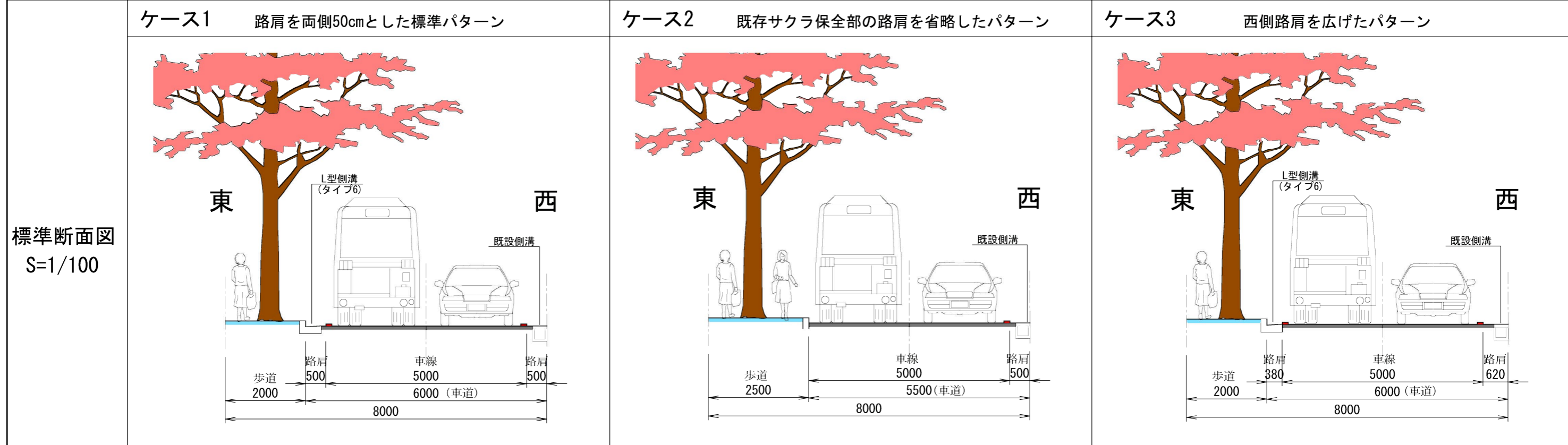


基本計画図 1-A案

～既存の桜(東側)を保全しつつ、現況の歩道を拡幅・再整備します～

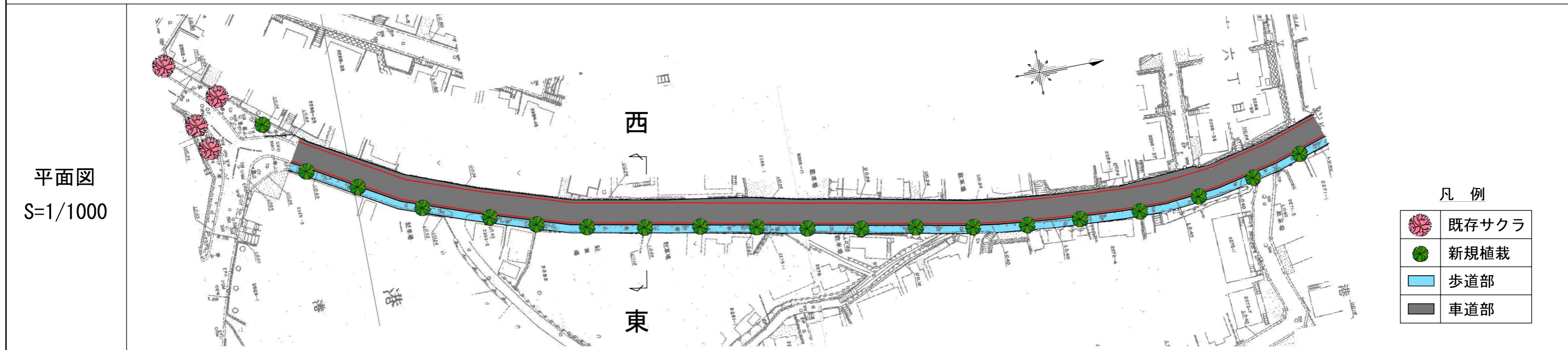


**整備概要** 西側の桜並木を撤去することで、東側歩道の幅員を2mに拡幅しました  
(良好な樹木は保全し、倒木等の危険がある樹木については、撤去したうえで別途新規の樹木を植栽します)

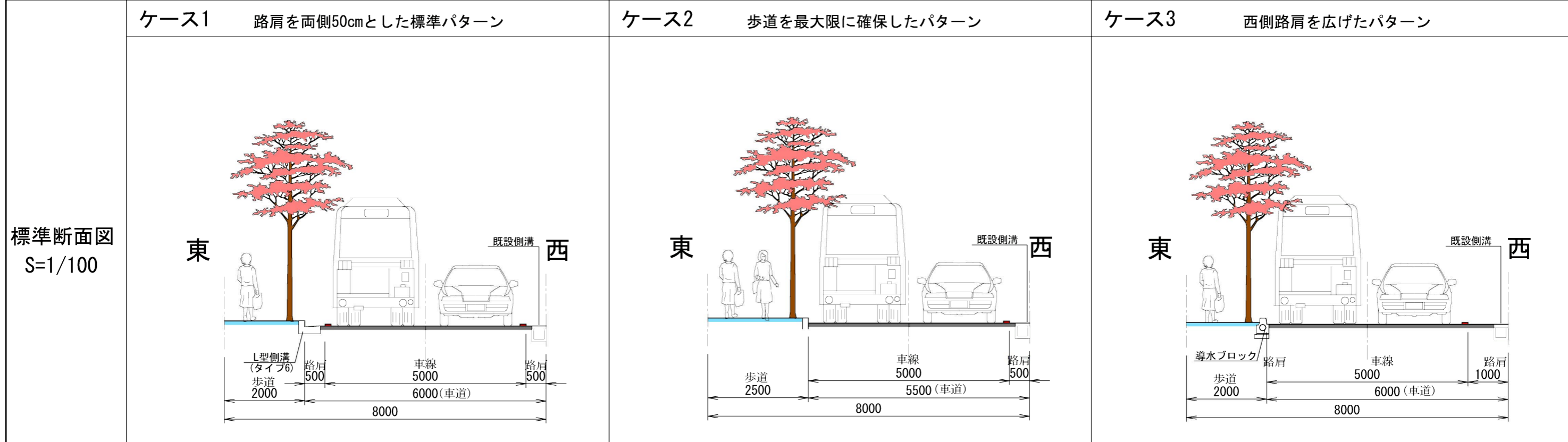


特徴	ケース1						ケース2						ケース3					
	西側歩道幅員	東側歩道幅員	車道幅員	西側路肩幅	東側路肩幅	車線幅	西側歩道幅員	東側歩道幅員	車道幅員	西側路肩幅	東側路肩幅	車線幅	西側歩道幅員	東側歩道幅員	車道幅員	西側路肩幅	東側路肩幅	車線幅
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>現況歩道が50cm程度拡幅され、サクラの根元が車道に入り込まない。</li> <li>サクラ並木が片側に集約されるので、車両の走行性が向上する。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>現況歩道が1m程度拡幅され、サクラの根元が車道に入り込まない。</li> <li>サクラ並木が片側に集約されるので、車両の走行性が向上する。</li> <li>サクラ保全全部の歩道幅員が広がり、歩行者の通行がスムーズになる。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>現況歩道が50cm程度拡幅され、サクラの根元が車道に入り込まない。</li> <li>サクラ並木が片側に集約されるので、車両の走行性が向上する。</li> <li>西側路肩が多少広く確保されるので、宅地への出入りがやや安心できる。</li> </ul>					
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>西側宅地が車道に接する。</li> <li>西側路肩が狭いため、西側宅地への出入りに不安がある。</li> <li>サクラ保全全部における歩行者通行性は、現況とほぼ変わらない。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>西側宅地が車道に接する。</li> <li>路肩を省略したため、歩行者と車の距離が縮まり、相互に不安感が生じる。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>西側宅地が車道に接する。</li> <li>サクラ保全全部における歩行者の通行性は、現況とほぼ変わらない。</li> </ul>					
道路幅員	-	2.0m	6.0m	0.5m以上	0.5m	5.0m	-	2.5m	5.5m	0.5m以上	-	5.0m	-	2.0m	6.0m	0.62m以上	0.38m	5.0m
評価	歩行者通行性	車両走行性	西側宅地出入	東側宅地出入	既存樹木保全	総合評価	歩行者通行性	車両通行性	西側宅地出入	東側宅地出入	既存樹木保全	総合評価	歩行者通行性	車両通行性	西側宅地出入	東側宅地出入	既存樹木保全	総合評価
	×	○	×	○	○		△	△	×	○	○		×	○	△	○	○	

基本計画図 1-B案 ～歩行者の通行性を優先して既存の桜は全て撤去し、東側の現況歩道を拡幅・再整備すると共に、新たに樹木を植栽します～



整備概要 東側歩道の幅員を2m以上に拡幅し、既存樹木の代わりに新規の樹木を植栽することで、歩行者の通行性を向上させました (既存樹木は全て撤去の対象とします)



特徴	メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現況歩道が50cm程度拡幅され、樹木も新規となるため、歩道の有効幅員が広がる。</li> <li>・植栽が片側に集約されるので、車両の走行性が向上する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現況歩道が1m程度拡幅され、樹木も新規となるため、歩道の有効幅員が広がる。</li> <li>・植栽が片側に集約されるので、車両の走行性が向上する。</li> <li>・歩道の有効幅員が2m程度となり、歩行者の通行が非常にスムーズとなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現況歩道が50cm程度拡幅され、樹木も新規となるため、歩道の有効幅員が広がる。</li> <li>・植栽が片側に集約されるので、車両の走行性が向上する。</li> <li>・西側路肩が広く確保されるので、宅地への出入りが安心できる。</li> </ul>
	デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西側宅地が車道に接する。</li> <li>・西側路肩が狭いため、西側宅地への出入りに不安がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西側宅地が車道に接する。</li> <li>・路肩を省略したため、歩行者と車の距離が縮まり、相互に不安感が生じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西側宅地が車道に接する。</li> </ul>

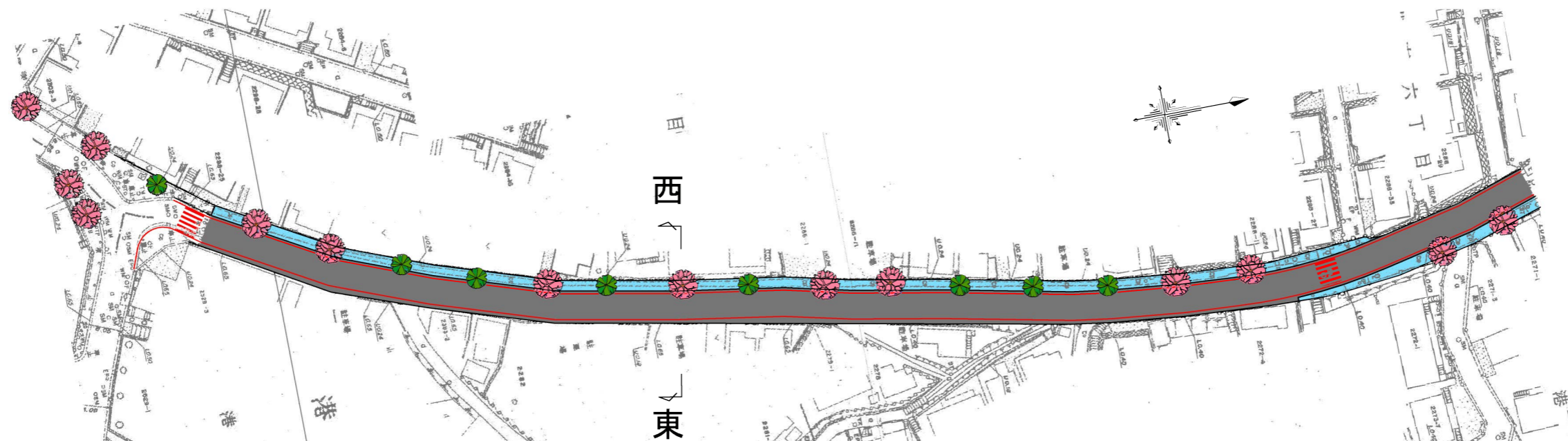
道路幅員	西側歩道幅員	東側歩道幅員	車道幅員	西側路肩幅	東側路肩幅	車線幅	西側歩道幅員	東側歩道幅員	車道幅員	西側路肩幅	東側路肩幅	車線幅	西側歩道幅員	東側歩道幅員	車道幅員	西側路肩幅	東側路肩幅	車線幅
	-	2.0m	6.0m	0.5m以上	0.5m	5.0m	-	2.5m	5.5m	0.5m以上	-	5.0m	-	2.0m	6.0m	1.0m以上	-	5.0m
評価	歩行者通行性	車両走行性	西側宅地出入	東側宅地出入	既存樹木保全	総合評価	歩行者通行性	車両通行性	西側宅地出入	東側宅地出入	既存樹木保全	総合評価	歩行者通行性	車両通行性	西側宅地出入	東側宅地出入	既存樹木保全	総合評価
	○	○	×	○	×		◎	△	×	○	×		○	○	○	○	×	



基本計画図 2-A案

～既存の桜(西側)を保全しつつ、西側に歩道を整備します～

平面図  
S=1/1000



凡例

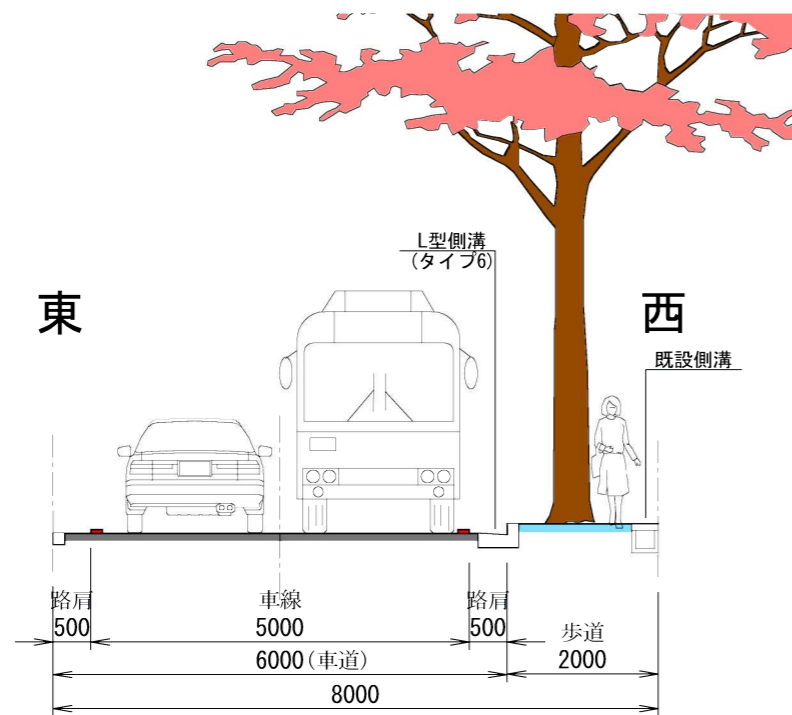
	既存桜
	新規植栽
	歩道部
	車道部

整備概要

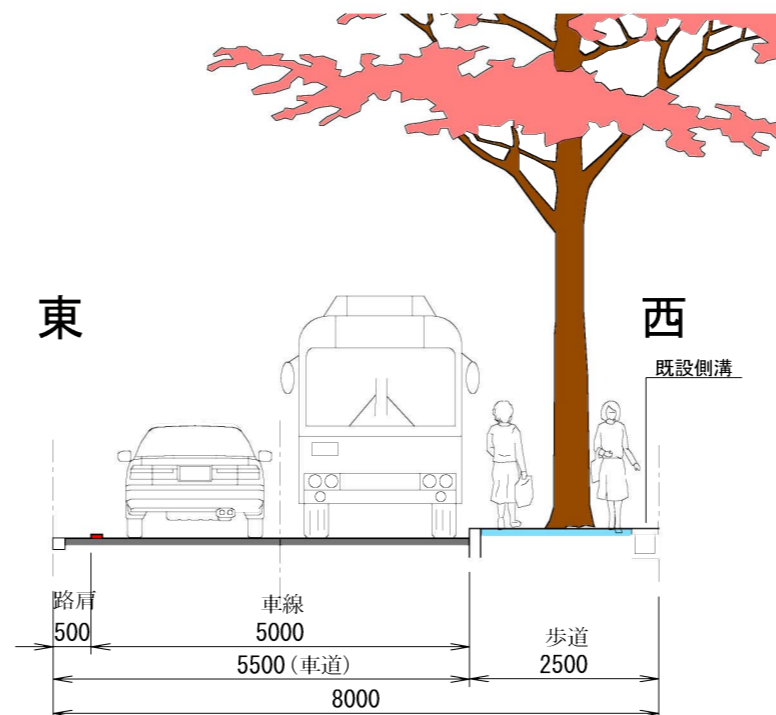
東側の桜並木を撤去することで、西側に幅員2mの歩道を確保しました  
(良好な樹木は保全し、倒木等の危険がある樹木については、撤去したうえで別途新規の樹木を植栽します)

標準断面図  
S=1/100

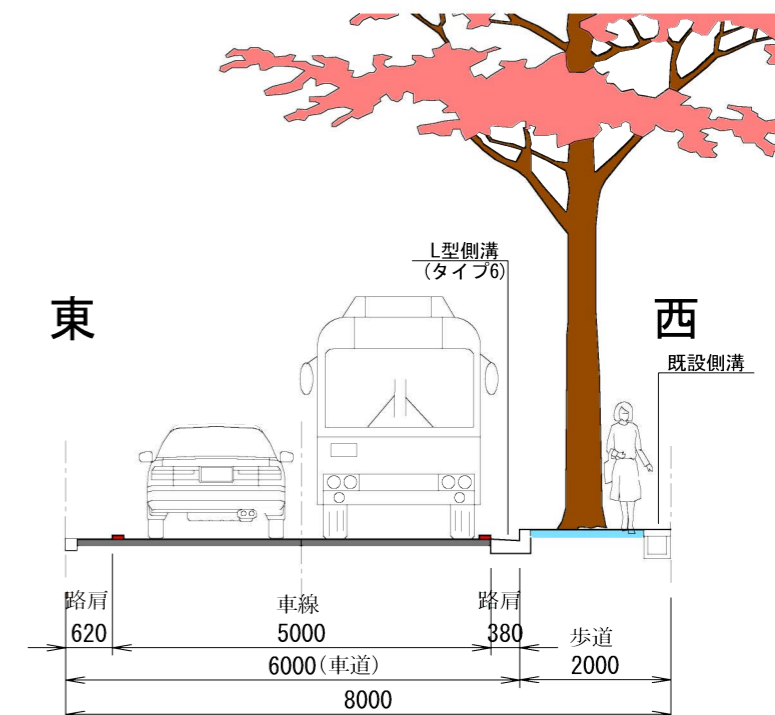
ケース1 路肩を両側50cmとした標準パターン



ケース2 既存桜保全部の路肩を省略したパターン



ケース3 東側路肩を広げたパターン



特徴

- メリット**
- ・現況歩道が50cm程度拡幅され、桜の根元が車道に入り込まない。
  - ・桜並木が片側に集約されるので、車両の走行性が向上する。
- デメリット**
- ・東側宅地が車道に接する。
  - ・桜保全部における歩行者の通行性は、現況とほぼ変わらない。

- メリット**
- ・現況歩道が1m程度拡幅され、桜の根元が車道に入り込まない。
  - ・桜並木が片側に集約されるので、車両の走行性が向上する。
  - ・桜保全部の歩道幅員が広がり、歩行者の通行がスムーズになる。
- デメリット**
- ・東側宅地が車道に接する。
  - ・路肩を省略したため、歩行者と車の距離が縮まり、相互に不安感が生じる。

- メリット**
- ・現況歩道が50cm程度拡幅され、桜の根元が車道に入り込まない。
  - ・桜並木が片側に集約されるので、車両の走行性が向上する。
  - ・東側路肩が多少広く確保されるので、宅地へのアクセスがやや安心できる。
- デメリット**
- ・東側宅地が車道に接する。
  - ・桜保全部における歩行者の通行性は、現況とほぼ変わらない。

道路幅員

西側歩道幅員	東側歩道幅員	車道幅員	西側路肩幅	東側路肩幅	車線幅	西側歩道幅員	東側歩道幅員	車道幅員	西側路肩幅	東側路肩幅	車線幅	西側歩道幅員	東側歩道幅員	車道幅員	西側路肩幅	東側路肩幅	車線幅
2.0m	-	6.0m	0.5m以上	0.5m	5.0m	2.5m	-	5.5m	-	0.5m以上	5.0m	2.0m	-	6.0m	0.38m	0.62m以上	5.0m

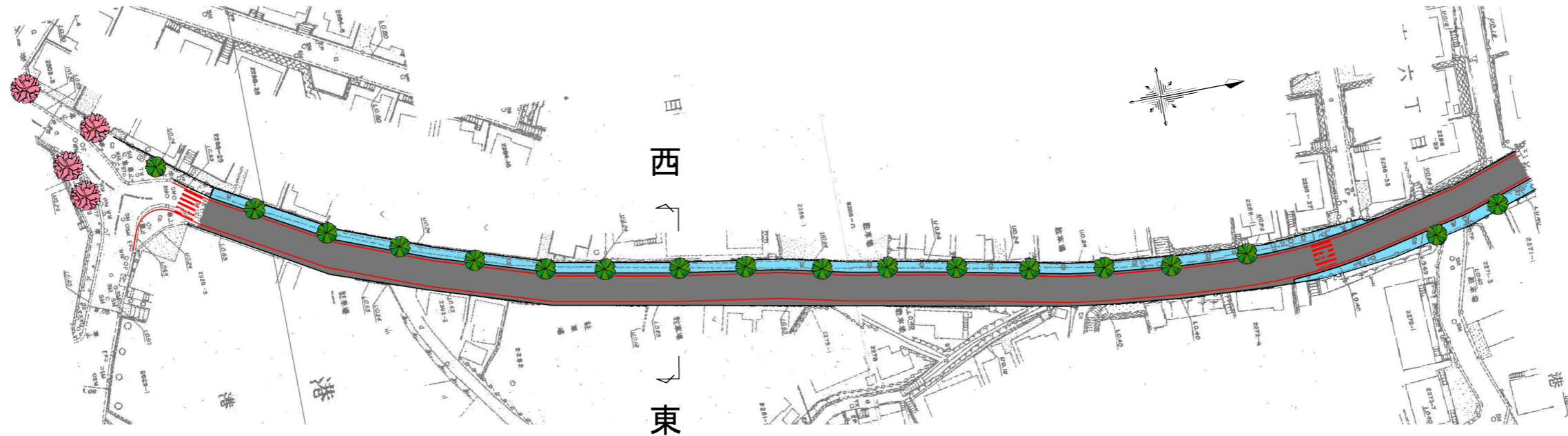
評価

歩行者通行性	車両走行性	西側宅地出入	東側宅地出入	既存樹木保全	総合評価	歩行者通行性	車両通行性	西側宅地出入	東側宅地出入	既存樹木保全	総合評価	歩行者通行性	車両通行性	西側宅地出入	東側宅地出入	既存樹木保全	総合評価
×	○	○	×	○		△	△	○	×	○		×	○	○	△	○	

基本計画図 2-B案

～歩行者の通行性を優先して既存の桜は全て撤去し、西側に歩道を整備すると共に、新たに樹木を植栽します～

平面図  
S=1/1000



凡例

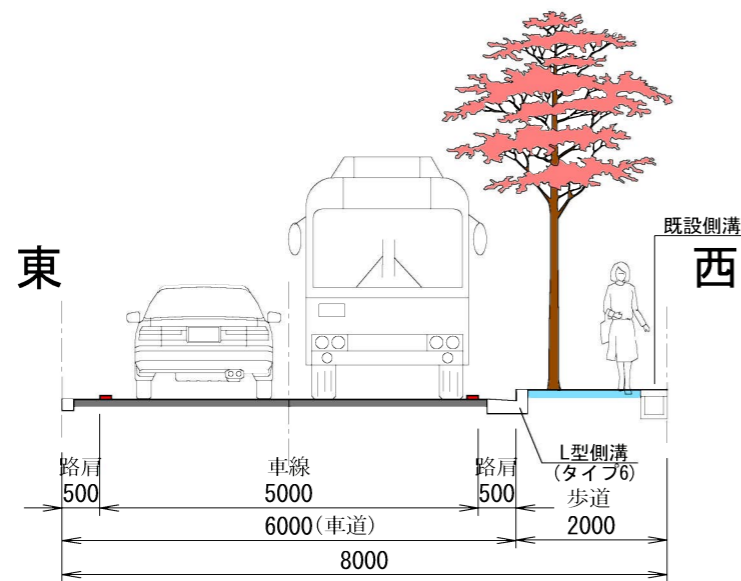
	既存桜
	新規植栽
	歩道部
	車道部

整備概要

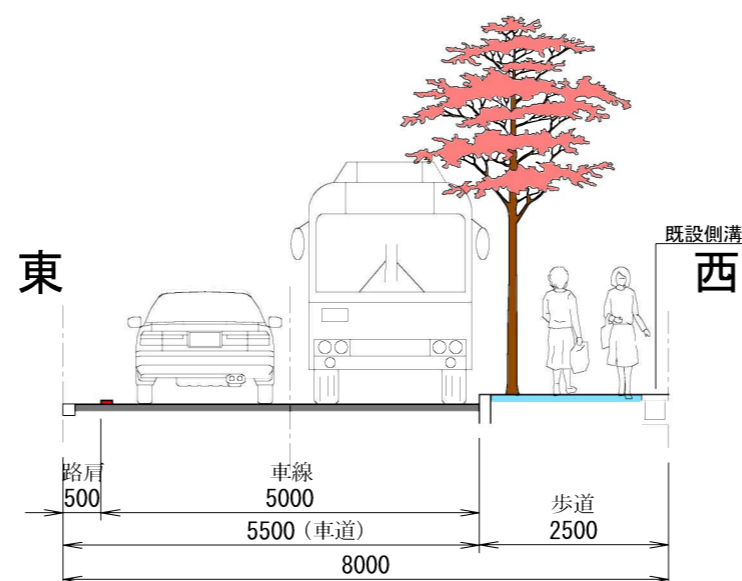
西側歩道の幅員を2m以上に拡幅し、既存樹木の代わりに新規の樹木を植栽することで、歩行者の通行性を向上させました  
(既存樹木は全て撤去の対象とします)

標準断面図  
S=1/100

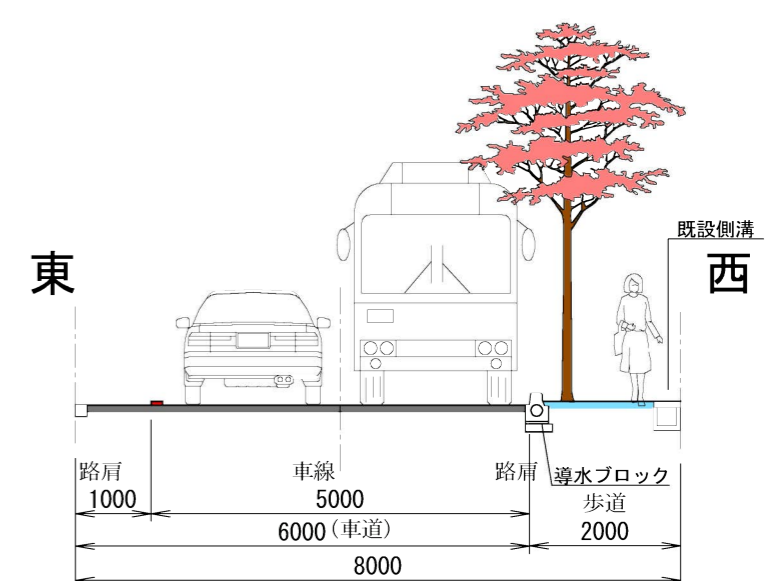
ケース1 路肩を両側50cmとした標準パターン



ケース2 歩道を最大限に確保したパターン



ケース3 東側路肩を広げたパターン



特徴

- メリット**
- ・現況歩道が50cm程度拡幅され、樹木も新規となるため、歩道の有効幅員が広がる。
  - ・植栽が片側に集約されるので、車両の走行性が向上する。
- デメリット**
- ・東側宅地が車道に接する。
  - ・東側路肩が狭いため、東側宅地への出入りに不安がある。

- メリット**
- ・現況歩道が1m程度拡幅され、樹木も新規となるため、歩道の有効幅員が広がる。
  - ・植栽が片側に集約されるので、車両の走行性が向上する。
  - ・歩道の有効幅員が2m程度となり、歩行者の通行が非常にスムーズとなる。
- デメリット**
- ・東側宅地が車道に接する。
  - ・路肩を省略したため、歩行者と車の距離が縮まり、相互に不安感が生じる。

- メリット**
- ・現況歩道が50cm程度拡幅され、樹木も新規となるため、歩道の有効幅員が広がる。
  - ・植栽が片側に集約されるので、車両の走行性が向上する。
  - ・東側路肩が広く確保されるので、宅地への出入りが安心できる。
- デメリット**
- ・東側宅地が車道に接する。

道路幅員

西側歩道幅員	東側歩道幅員	車道幅員	西側路肩幅	東側路肩幅	車線幅	西側歩道幅員	東側歩道幅員	車道幅員	西側路肩幅	東側路肩幅	車線幅	西側歩道幅員	東側歩道幅員	車道幅員	西側路肩幅	東側路肩幅	車線幅
2.0m	-	6.0m	0.5m以上	0.5m	5.0m	2.5m	-	5.5m	-	0.5m以上	5.0m	2.0m	-	6.0m	-	1.0m以上	5.0m

評価

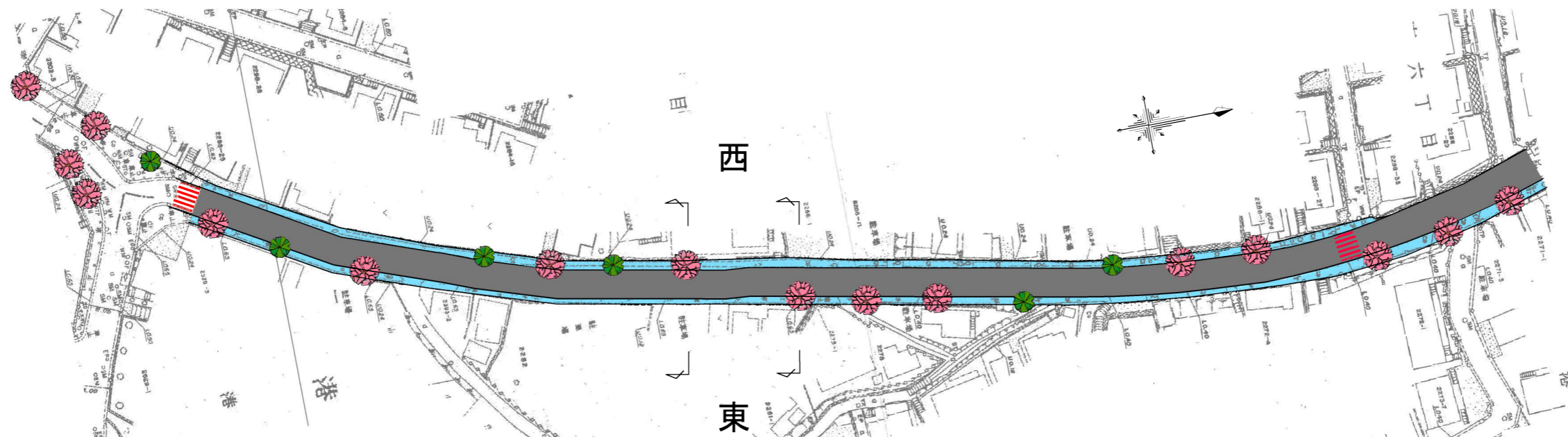
歩行者通行性	車両走行性	西側宅地出入	東側宅地出入	既存樹木保全	総合評価	歩行者通行性	車両通行性	西側宅地出入	東側宅地出入	既存樹木保全	総合評価	歩行者通行性	車両通行性	西側宅地出入	東側宅地出入	既存樹木保全	総合評価
○	○	○	×	×		◎	△	○	×	×		○	○	○	○	×	



# 基本計画図 3-A案

～既存の桜(両側)を保全しつつ、両側に歩道を整備します～

平面図  
S=1/1000



凡例

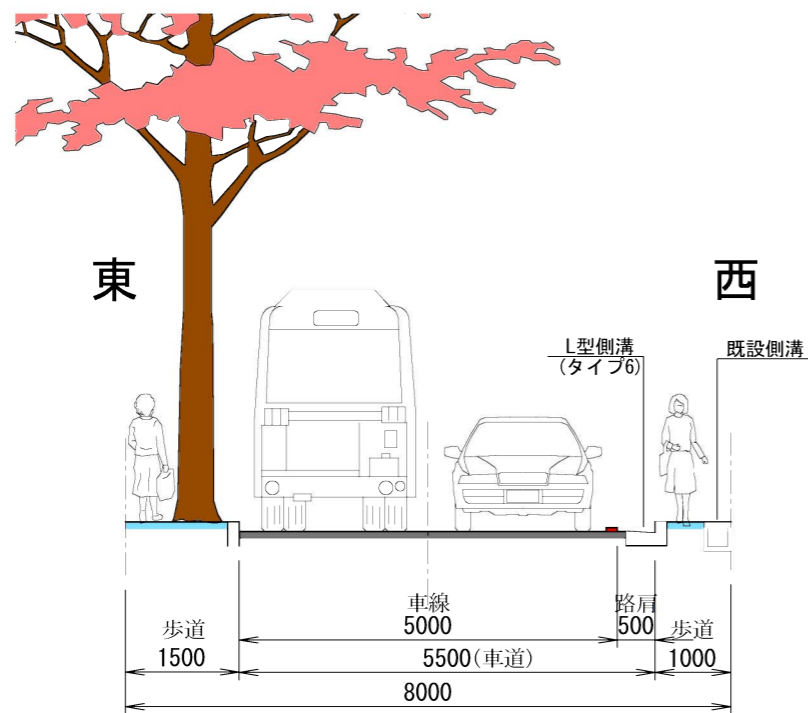
	既存サクラ
	新規植栽
	歩道部
	車道部

整備概要

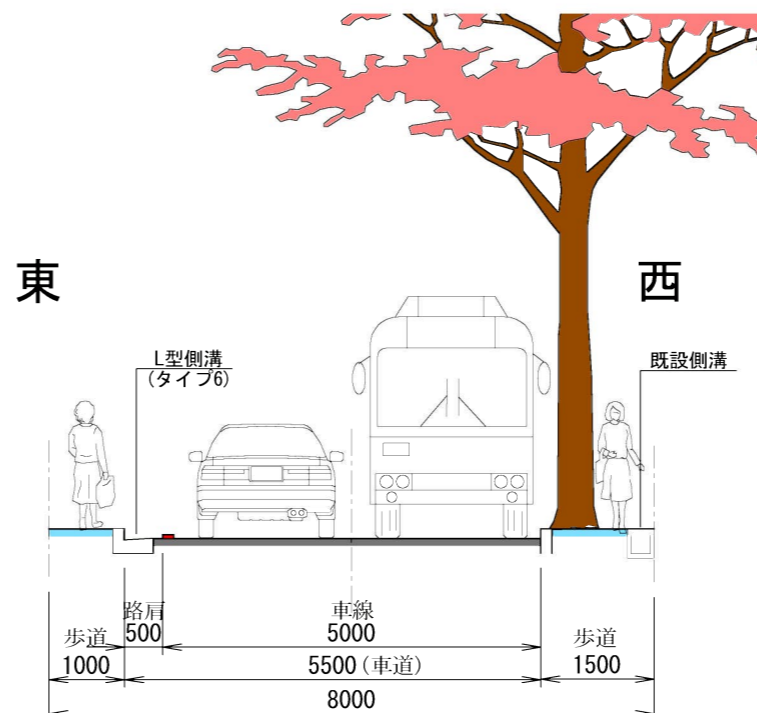
両側に歩道を設置し、サクラ保全部歩道は1.5m、サクラ撤去部歩道は1.0mとしました  
(東西3～4本の桜並木を形成し、既存樹木のうち良好な樹木は保全し、倒木等の危険がある樹木については、撤去したうえで別途新規の樹木を植栽します)

標準断面図  
S=1/100

東側サクラ保全部



西側サクラ保全部



特

メリット

・幅員は狭いが両側に歩道を確保できるので、宅地への出入りが安心である。

・幅員は狭いが両側に歩道を確保できるので、宅地への出入りが安心である。

徴

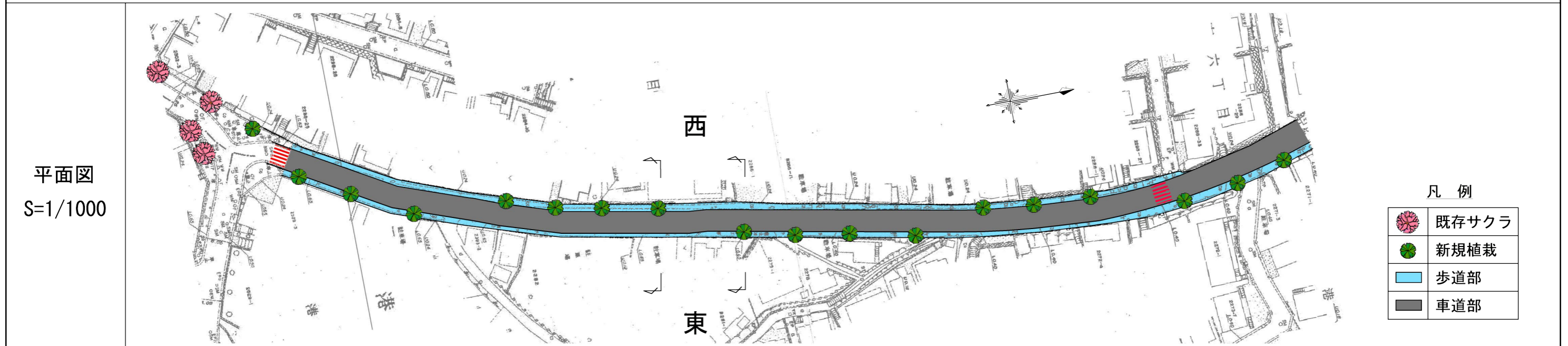
デメリット

・サクラ保全部の歩道は現況と同等となり、根元が車道にはみ出る樹木も存在する。  
・サクラ保全部の路肩を省略しているため、歩行者と車の距離が縮まり、相互に不安が生じる。

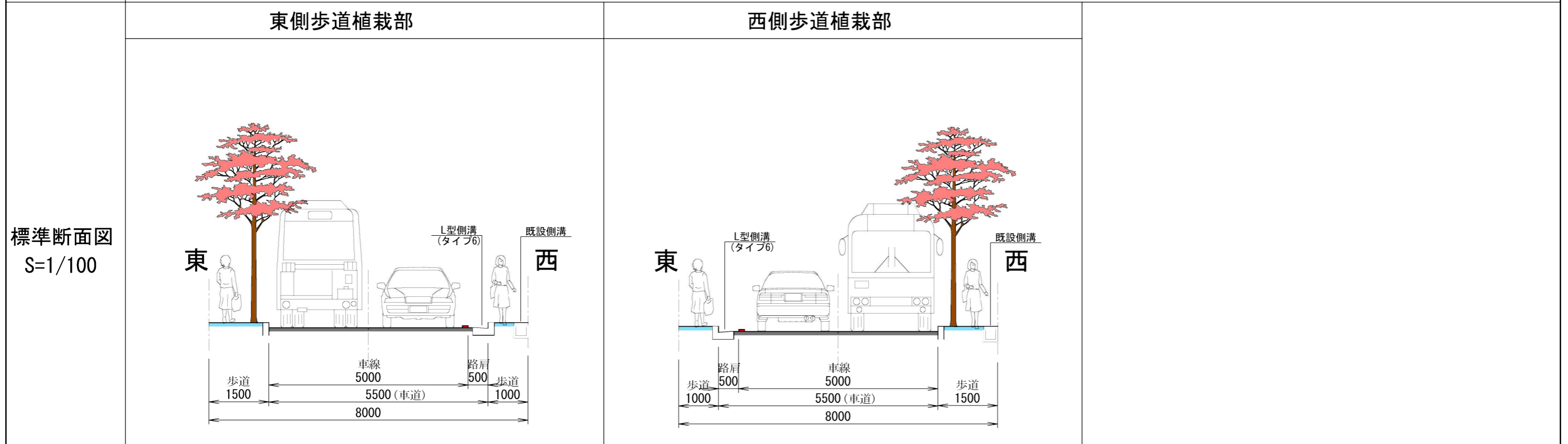
・サクラ保全部の歩道は現況と同等となり、根元が車道にはみ出る樹木も存在する。  
・サクラ保全部の路肩を省略しているため、歩行者と車の距離が縮まり、相互に不安が生じる。

	西側歩道幅員	東側歩道幅員	車道幅員	西側路肩幅	東側路肩幅	車線幅	西側歩道幅員	東側歩道幅員	車道幅員	西側路肩幅	東側路肩幅	車線幅
	1.0m	1.5m	5.5m	0.5m	-	5.0m	1.5m	1.0m	5.5m	-	0.5m	5.0m
	歩行者通行性	車両通行性	西側宅地出入	東側宅地出入	既存樹木保全	総合評価	歩行者通行性	車両通行性	西側宅地出入	東側宅地出入	既存樹木保全	総合評価
	×	△	○	○	○		×	△	○	○	○	

**基本計画図 3-B案** ～歩行者の通行性を優先して既存の桜は全て撤去し、両側に歩道を整備すると共に、新たに樹木を植栽します～



**整備概要** 両側に歩道を設置し、植栽部歩道は1.5m、無植栽部歩道は1.0mとしました (東西3～4本毎の並木植栽を形成します)



<b>特徴</b>	<b>メリット</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅員は狭いが両側に歩道を確保できるので、宅地への出入りが安心である。</li> <li>植栽部の歩道は、既存樹木が撤去されるので、有効幅員は広く確保できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅員は狭いが両側に歩道を確保できるので、宅地への出入りが安心である。</li> <li>植栽部の歩道は、既存樹木が撤去されるので、有効幅員は広く確保できる。</li> </ul>
	<b>デメリット</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>植栽部の歩道は、現況と同等程度に整備するのが限界である。</li> <li>植栽部の路肩を省略しているため、歩行者と車の距離が縮まり、相互に不安が生じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>植栽部の歩道は、現況と同等程度に整備するのが限界である。</li> <li>植栽部の路肩を省略しているため、歩行者と車の距離が縮まり、相互に不安が生じる。</li> </ul>

<b>道路幅員</b>	西側歩道幅員	東側歩道幅員	車道幅員	西側路肩幅	東側路肩幅	車線幅	西側歩道幅員	東側歩道幅員	車道幅員	西側路肩幅	東側路肩幅	車線幅
	1.0m	1.5m	5.5m	0.5m	-	5.0m	1.5m	1.0m	5.5m	-	0.5m	5.0m
<b>評価</b>	歩行者通行性	車両通行性	西側宅地出入	東側宅地出入	既存樹木保全	総合評価	歩行者通行性	車両通行性	西側宅地出入	東側宅地出入	既存樹木保全	総合評価
	△	△	○	○	×		△	△	○	○	×	